

【使用目的】

精子の凍結保存。

【品質確認試験】

ロットごとにpH、Osmolality、Sperm Survival Assay、Rabbit Pyrogen Test(ウサギ発熱性試験)、無菌性が試験される。

【使用方法】

1. 2～3日の禁欲期間の後に精液を収集します。
2. 検体を37℃で30分間液化します。
3. 培地のバイアルを解凍し、37℃にします。
4. 液化した検体を、滅菌した15 mLのコニカル遠心チューブに移し、容量を測定し、サンプルと培地の比率が1:1になるまで培地を滴下します。(注:検体の粘度が高い場合は完全に混合するために、ピペティングを繰り返します。)
5. サンプルと培地の混合物を、ビーカーまたはその他の適切な37℃の水の容器に入れます。
6. 容器を2～5℃で冷蔵し、混合物を最大90分間ゆっくりと冷却します(0.5℃/分)。

注：ステップ 1～5 は室温または 37℃で行います。



【保存温度】 -10℃

【有効期間】 製造後 2 年

【使用上の注意】

ゲンタマイシン硫酸塩と卵黄タンパク質が含まれています。患者がこの抗生物質または卵黄タンパク質に感作されないように、適切な予防措置を講じる必要があります。